

経済指標解説

2014年10月17日

主要な経済指標の発表予定と予測 (10/20~10/24)

経済調査部
松浦大将
03-3591-1435
hiromasa.matsuura@mizuho-ri.co.jp

【来週の注目材料】※（ ）内はみずほ総研予想

21日：8月の全産業活動指数（前月比▲0.3%、前年比▲2.5%）

22日：9月の貿易統計（貿易収支6,252億円の赤字、輸出前年比+8.8%、輸入同+3.0%）

国内企業物価指数は伸びが縮小

14日に発表された9月の国内企業物価指数は、前年比+3.5%（8月同+3.9%）に伸びが縮小した。消費増税の影響を除くベースでは同+0.7%と、1年4カ月ぶりに1%を下回る伸びとなった。農林水産物や非鉄金属などがプラスに寄与したものの、石油・石炭製品や電力・都市ガス・水道などが全体を押し下げた。総じてみると、円安進行による物価上昇圧力を原油価格下落の影響が上回る結果となった。

設備稼働率は5カ月連続の低下

15日に発表された8月の設備稼働率は、前月比▲1.7%（7月同▲0.8%）と5カ月連続で低下した。業種別にみると、化学工業（同+3.7%）や金属製品工業（同+2.9%）が上昇する一方、輸送機械工業（同▲5.8%）やはん用・生産用・業務用機械工業（同▲5.8%）などが低下した。

また、8月の鉱工業生産指数確報は前月比▲1.9%（速報：同▲1.5%）に下方修正された。

来週は貿易統計、全産業活動指数などが発表される。

貿易収支の赤字幅は前年同月から縮小

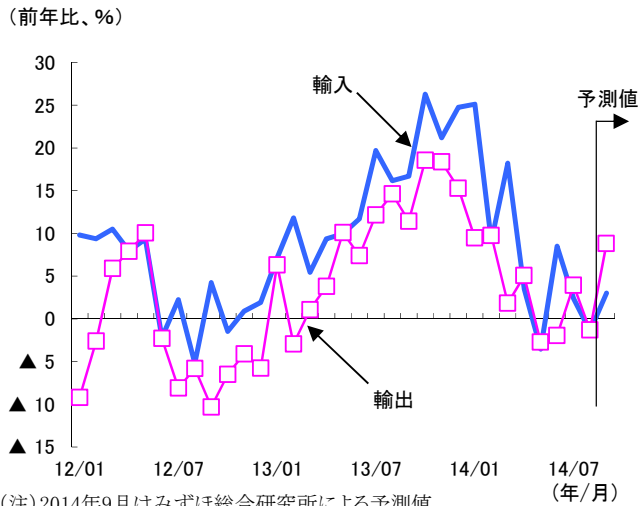
22日に発表される9月の貿易統計は、輸出金額が前年比+8.8%（8月同▲1.3%）、輸入金額が同+3.0%（8月同▲1.4%）、貿易収支が6,252億円の赤字（8月9,497億円の赤字）と予想する。円安などにより輸出価格が上昇することに加え、スマートフォン向け電子部品供給などから輸出数量も増加するとみられることから、輸出金額は前年比プラスに転じる見通しである。一方、原油価格の下落が円安による輸入価格の上昇圧力を相殺するとみられることや、国内生産の弱含みなどを背景にエネルギー関連の輸入数量が減少すると予想されることから、輸入金額は小幅な伸びにとどまるだろう。輸出金額の伸びが輸入金額の伸びを上回り、貿易収支の赤字幅は前年同月（9,432億円の赤字）と比べると縮小する見込みである。

全産業活動指数は3カ月連続の低下

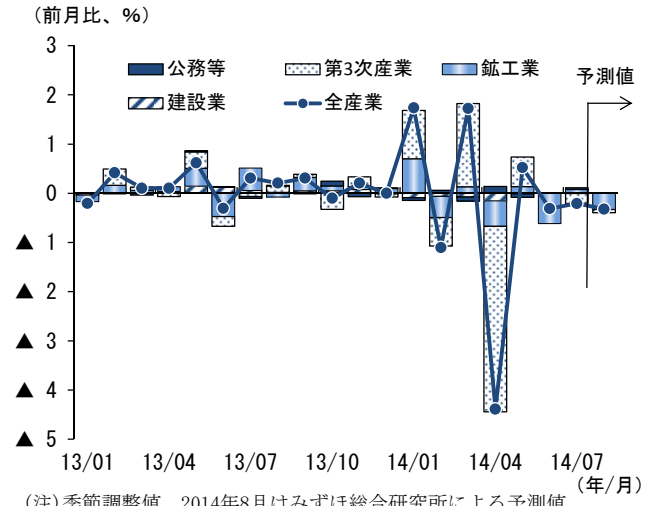
21日に発表される8月の全産業活動指数は、前月比▲0.3%（7月同▲0.2%）と予測する。鉱工業生産指数や第3次産業活動指数が押し下げに寄与し、全産業活動指数は3カ月連続で前月比マイナスとなった模様である。

図表1 輸出入金額の推移

図表2 全産業活動指数の推移



(注)2014年9月はみずほ総合研究所による予測値。
(資料)財務省「貿易統計」



(注)季節調整値。2014年8月はみずほ総合研究所による予測値。
(資料)経済産業省「全産業活動指数」

執筆担当～ 松浦大将

予測担当～ 貿易統計：大和香織、全産業活動指数：坂中弥生

米国主要経済指標（ダイアリー掲載分）：山崎亮

●当レポートは情報提供のみを目的として作成されたものであり、商品の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。

【 来週のダイアリー 】

日付	経済指標等	予想	前回	前々回
10/17(金)	米			
	住宅着工件数(9月) 年率	[105.0万件]	95.6万件	111.7万件
	住宅着工許可件数(9月) 年率	[105.0万件]	100.3万件	105.7万件
	ミシガン大消費者信頼感指数(10月速報)	[83.8]	84.6	82.5
	イエレンFRB議長講演(ボストン)			
10/21(火)	日			
	全産業活動指数(8月) 前月比	[▲0.3%]	▲0.2%	▲0.3%
	20年利付国債入札			
	中			
	鉱工業生産(9月) 前年比	+7.5%	+6.9%	+9.0%
	実質GDP(7~9月期) 前年比	+7.2%	4~6月期 +7.5%	1~3月期 +7.4%
	米			
	中古住宅販売件数(9月) 年率	[515万件]	505万件	514万件
10/22(水)	日			
	貿易統計(9月)	通関収支 原数値 [▲6,252億円]	▲9,497億円	▲9,649億円
		前年比 [-]	-	-
		輸出 前年比 [+8.8%]	▲1.3%	+3.9%
		輸入 前年比 [+3.0%]	▲1.4%	+2.4%
	米			
	消費者物価指数(9月) 前月比	[+0.1%]	▲0.2%	+0.1%
	[食品・エネルギーを除く] 前月比	[+0.1%]	±0.0%	+0.1%
10/23(木)	中	HSBC製造業PMI(10月速報)	49.9	50.2
	米	失業保険新規申請件数(~10/18)	[295千人]	294千人
	比	金融政策決定会合		
10/24(金)	米	新築住宅販売件数(9月) 年率	[48.0万件]	50.4万件
				42.7万件

予想：[]はみずほ総合研究所予想、それ以外はコンセンサス(Bloomberg等)。予定は変更になる可能性があります。
日：日本、米：米国、中：中国、比：フィリピン